**＜資料1＞**

それではこれからの文字起こし、今後必要なスキルとはということで、クオリティ推進部伊藤の方からお話させていただきますよろしくお願いしますまず少し私私も少し自分の自己紹介させていただきます先ほど田中から紹介がありましたが、この6月よりシニアエキスパート文字起こしマスターとなりました。

気が付けば文字起こしを始めて23年で子どもが2人いるんですけれども、下の子どもが生まれる時に文字起こしの勉強を始めてこの仕事を開始したんですけれども上の娘がもう20今年なのか何でしたが23歳になってしまって京阪薬に登録してからもう元々ワーカーで東京版薬に登録してたんですけれども、登録してから17年で社内で働き始めてからもう9年かなになりまして本当に、何でしょうね改めて年数を口にするとときの早さすごい早いなというところで、それだけ自分も年をとっているんだなということを改めて感じて、ちょっとをのぞいております

**＜資料2＞**

浦野工房って聞こえる言葉、多分人名、多分昔の建築家の名前ですこの人が設計した建築物を苦労して保存したらしいんです近江町市場という施設の再開発の話題で近江町市場は石川県金沢市にあるらしいです。

という前提で、裏の公募ヒットはありませんちょっと距離を変えて名前じゃなくって名前の一部と、この人の仕事らしいものを組み合わせます。

建築課浦野これでネット検索した時に、石川県の建築事務所がヒットしたんですね。

受賞歴もあって作品展も開催してます。

かなり有望なんですが何か確信が持てなかったか、裏づけを取ろうと思ってもちょっとこの裏づけが取れない感じでした。

そしたらここで方向距離感を変えるっていうのは今度名前から離れてこの他の言葉から近江町市場、近江町市場と建築家ごめんなさいなんか変動も受けてますね。

失礼しました。ここでネット検索したら日本を代表する建築家でもある村野東吾という情報がヒットしました。これ村野東吾羽蘭公募にてますよね。

**＜資料３＞**

で、もう一つの方法としては、小さい応答もハードで増幅してしまうあのー、パソコンの音量を最大にすると、もうそれ以上普通は大きくできないんですけれども、アンプ内蔵スピーカーというものをつなぐとあのー、アクティブスピーカーと呼ばれるものですけれども、このアンプっていうのは、音を増幅する機械です。

だからこれをつなぐと、パソコンいっぱいにしても、それにさらに何倍もどんどんどんどん大きくすることができます。

これ私の事務所の写真なんですけれどもまずこのスピーカーをつないでスピーカーからヘッドホンをつないでいます。

これわーえっとー、15W+15Wというやつですね。

このワット数は10月度+10W以上ぐらいがおすすめです。

このワット数がまた3Wとかたシュータン3W3Wぐらいだと、こんなちっちゃいあのー、持ち運びには便利だけれども増幅機能はあんまりないので、このワット数の大きいものほど大きくなります。

これはね私のは1万8000円ぐらいでした。

**＜資料４＞**

最近特に自分の中で熱いのは三葉虫ですねアノマロカリスじゃないんですかねバカリズムを好きですけど今、三葉虫の本を最近読んでいって、山幼稚園三葉虫の本とかあるんだよね古代生物の本とかではなく、三葉虫とか幼稚園の皆さんですその代表的な化石ですねそうなんですよ。

幼稚園の感想なぞ私の心もあの実況会の三葉虫って言うんですけど、例えばそこでリチャードコーヒーという人は生物のすごい有名な人なんですけどその人の本、三葉虫の断層帯で読んでちょっと面白いへえ、そもそも節足動物とか、外国の生物が好きで、うんはい外骨格をはいはい外側がねすごいいいじゃないですかそれいいよねすぐに読んだときに悪くなったそうですそう話していいと思います気付いたら靴の勉強してて、人間って、関節本生があるのは、中がね外が筋肉だからだって思って外骨格ってこの関節がすごいカチッとしてて、可動域狭いんだけどすごい力でだからのみがジャンプすると、ビルの何階建てぐらいまでみたいな事は分かってるよっていうのは、外骨格だからなのかなと思って、飲みそんな人はみんなホイル知らないかっこいいかっこいいかっこいいんですよ。